

平成 27 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代表者の役職・氏名 会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
(コード番号 4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL : 03-5789-5872 (代表))
代理人の ベーカー&マッケンジー法律事務所
住所・氏名 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙
(TEL : 03-6271-9900)

取締役の異動、最高経営責任者の異動および新経営体制に関するお知らせ

シアトル市 (2015 年 5 月 1 日 (米国西海岸時間)) – 2015 年 5 月 1 日 (米国西海岸時間) にワシントン州シアトル市で開催された当社の臨時株主総会において選任された新取締役のもと、当社は、同日開催の取締役会において、窪田良氏を当社の最高経営責任者 (CEO) に任命し、同氏のもとで新たな経営体制を構築いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 取締役の異動について

退任取締役：

ピーター・A・クレセル氏
グレン・Y・サトウ氏
マイケル・T・シュツラー氏
ブライアン・オカラガン氏

新任取締役：

北尾 吉孝氏
三田 四郎氏
中村 栄作氏
ロバート・タケウチ氏

新任取締役の略歴

北尾 吉孝 氏

北尾吉孝氏（64歳）は、1999年から現在まで、SBIホールディングス株式会社の最高経営責任者を務めています。1995年から2005年まで、ソフトバンク株式会社において最高財務責任者を務めました。また、同氏は2005年4月から2013年9月まで当社の取締役を務めました。日本における複数の傑出した企業において上級役職を務めた経験から、同氏は、取締役として重要な執行および経営経験ならびに財務および会計分野の豊富な知識を生かすことができます。

三田 四郎 博士

三田四郎博士（63歳）は、2000年11月から現在まで、株式会社エムズサイエンスの社長兼最高経営責任者を務めています。1995年から2000年まで、参天製薬株式会社において薬剤開発担当執行取締役を務めました。同氏は、東京大学薬学部において博士号を取得した後、慶應義塾大学医学部薬理学教室助手を務めました。米国シアトル市所在のワシントン大学において、がん生物学の博士後研究員を務めました。1989年から2000年まで、参天製薬株式会社の取締役を務めました。同氏は、取締役として、バイオテクノロジーおよび薬学の領域における研究者および執行役員として両面からの豊富な経験を生かすことができます。

中村 栄作 氏

中村栄作氏（53歳）は、2006年9月から2010年6月までバイオサイトキャピタル株式会社の取締役兼部長を務め、2001年4月から2006年3月までBerevno Corporationにおいて最高経営責任者兼社長を務めました。また、同氏は社外取締役をCanBas Corporation（2002年3月から2009年9月）、株式会社アクティブスファーマ（2010年10月から2013年9月）および一般社団法人こいのぼり（2013年9月から現在）の各社において務めました。同氏は、取締役として、会社の持続的成長にとって重要と考える投資運用および資本市場における経験を生かすことができます。

ロバート・タケウチ 氏

ロバート・タケウチ氏（58歳）は、2004年から現在までRTコンサルティング・インクの社長を務めています。また、同氏は、1998年から2004年までSoftbank Investment America Corporationの社長を務め、1996年から1998年までSoftbank Americaにおいて財務部長および秘書役を務め、1988年から1996年までCredit Suisse First Boston社の国際エクイティ・セールスのディレクターを務めました。また、2004年から2013年までSBIインベストメント株式会社の取締役を務め、2010年から2013年までQuark Pharmaceuticals, Inc.の取締役を務めました。同氏は、取締役として資本市場および投資助言における豊富な経験を生かすことができます。

2. 最高経営責任者の異動

	氏名	新・役職名	旧・役職名
就任	窪田良	会長、社長兼最高経営責任者 (CEO) 取締役	ファウンダー兼会長 取締役
退任	ブライアン・オカラガン (Brian O'Callaghan)	—	社長兼最高経営責任者 (CEO) および社長 取締役

異動の理由

当社は、「視力を脅かす眼疾患の撲滅を目指し、革新的な新薬の探索および開発に取り組む」ことを企業理念とし、その実現を目指す当社の社会的な存在意義に焦点を置き、当社創業者である窪田氏が再び、経営の最高責任者として、新たな経営陣とともに当社の持続的な企業価値の向上に取り組むことが最適であると判断いたしました。

新経営陣は、引き続き、当社の基盤技術である視覚サイクルモジュレーション技術にかかる共同研究と開発に取り組むことを基盤に、当社のガバナンスおよびすべてのステークホルダーとの関係の再構築を図り、すべてのステークホルダーの共同利益の実現に取り組んでまいります。

新任最高経営責任者 (CEO) の略歴

窪田 良氏

窪田良氏（48歳）は、当社の創業者であり、2002年6月から当社の取締役を務めており、2005年4月から会長を務めています。さらに、2002年6月から2014年9月までは社長、2002年6月から2014年12月まではCEO、2002年6月から2006年8月までは会計責任者ならびに2002年6月から2002年9月、2002年11月から2006年8月および2007年3月から2011年7月まで秘書役を務めました。当社を創業する前、窪田氏は眼科学分野で活動しており、慶應義塾大学において教員を務めた他、ワシントン大学の医学部において助教授として勤務しました。窪田氏は、慶應義塾大学においてMDおよびPhDを取得しております。窪田氏は、1996年に日本眼科医会による眼科専門医の資格を取得し、米国眼科学会（AAO）、米国視覚眼科学会（ARVO）および日本眼科学会の会員を務めています。2008年以降、窪田氏はワシントン州の日米協会の理事を務めています。2014年以後、慶應義塾大学医学部客員教授を務めています。当社は、窪田氏が当社の創業者として、歴史的知識、科学的統率力、眼科産業における専門知識、提携における統率力および継続性に基づき、同氏が当社の最高経営責任者を務めるべきであると確信しています。

3. 新経営体制

下記の通り新たに3名の上級役員を任命いたしました。

氏名	新・役職名
ジョン・ゲブハート (John Gebhart)	最高財務責任者 (Chief Financial Officer)
スティーブ・ター (Steve Tarr)	最高執行責任者 (Chief Operating Officer)
テッド・ダンス (Ted Danse)	最高事業責任者 (Chief Business Officer)

上級役員略歴

ジョン・ゲブハート氏 (最高財務責任者)

ジョン・ゲブハート氏 (60歳) は2015年5月から当社の最高財務責任者 (CFO) に就任しました。同氏は2012年から2015年まで、医療サービスのリーダー、Qliance Medical Management Inc. にてCFOを務め、財務とオペレーションの領域で会社の成長に貢献しました。2004年から2012年まではコンサルタントとして独立し、経営、プロジェクト管理等の遂行業務サービスを Remote Medical International、Ventripoint、PhysioSonics、Carena、Clarity Health、Nexcura、DS-IQ などのヘルスケアおよびテクノロジー企業に提供しました。ゲブハート氏はCFO、COO、CEOなどの職務で30年以上、ヘルスケアおよびテクノロジー企業を支えてきました。同氏はCPA (公認会計士) としてアーンスト・アンド・ヤングにおいて経験を積んでいます。同氏はPepperdine 大学 (カリフォルニア州マリブ) でMBAを取得しました。

スティーブ・ター博士 (最高執行責任者)

スティーブ・ター博士 (61歳) は2015年5月より当社の最高執行責任者 (COO) に就任しました。ター博士はグローバルコミュニケーション、ヘルスケア、教育等の業界においてフォーチュン500企業及びスタートアップでの上級幹部職を務めてきました。ター博士は中小企業の育成から大企業の活性化に必要な知識を持ち、National Association of Corporate Directors のメンバーでもあります。同氏は、Emeritus Senior Living 社にてEVP & CIO (エグゼクティブバイスプレジデント兼チーフインフォメーションオフィサー) を務め、業界を牽引する技術を手がけました。それ以前は、アドバイザーとして顧客に焦点を置くテクノロジーソリューションを提言し、代表者および幹部へのアドバイス、ビジネス戦略立案などを提供し、Santa Clara Valley Health System、Scottsdale Lincoln Health Network、University of Washington Medicine 等の企業団体の成長を助けました。ター博士はポートランド州立大学にて、企業組織内のテクノロジー統合に焦点をおいた Systems Science の博士号を取得しました。同氏はワシントン州立大学にてコンピューターサイエンス修士号、生物学学士号を取得しました。

テッド・ダンス氏（最高事業責任者）

テッド・ダンス氏（62歳）は2015年5月より当社の最高事業責任者（CBO）に就任しました。同氏は、網膜への薬剤投与機であるMicroPumpを開発するReplenish, Inc.にて社長を務め、同社の構造改革、資本改善を行い、グローバル企業への技術譲渡等の成果を収めました。同氏は2005年から2014年まで、Neurotech Pharmaceuticals, Inc.の社長兼CEOを務めました。2006年には同社の移転、構造改革及び資本改善を遂行しました。その後、同氏は滲出型加齢黄斑変性と緑内障の治療に役立つ製品開発を引率しました。その他はISTA Pharmaceuticals Inc.の社長 and CEOを務め、2000年に同社のNASDAQ市場上場を果たしました。同氏はAllergan社にて様々な上級職を務めた経験もあり、当社では日本、中国、アジアでの事業開発を手がけ、企業買収等も含め、成果をあげました。また、Coopervision社、Bausch & Lomb社及びSchering-Plough社で事業開発を手がけました。同氏は眼科学の領域で30年以上もの経験が保有しております。同氏はThunderbird School of Global Management（アリゾナ州グレンデール）で国際経営学のMBAを取得しています。

4. 異動日

2015年5月1日（米国西海岸時間）

以 上

アキュセラ・インク（Acucela Inc.）について

アキュセラ・インク（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタ塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発を行っています。